

本年度の実践努力事項



(1) 児童の自尊感情・自己肯定感の向上 「子どもを主語にした学校」へ

- ◆人権教育の研究推進（「食肉産業」学習、地域教材の開発、人権交流推進事業等）
- ◆「越部っ子憲章」を基盤に据えた道徳教育の推進（「いのち」の授業・「越部っ子憲章」の実践）
- ◆一人一人の発達や障がいの状態に応じた特別支援教育の充実
- ◆安全・健康教育の充実と教育環境の整備、美化活動の推進、「もくもく掃除」の徹底
- ◆「兵庫の防災教育」の充実
- ◆小中一貫校を見据えた交流活動の推進と、他者理解力や人間関係調整力の育成

(2) 児童の「確かな学力」の育成

- ◆「わかる、できる喜び」基礎・基本の徹底（朝のチャレンジタイム、家庭における学習習慣の確立等）
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の促進（言語活動「ことばの力」向上や探究的活動を中核にした指導方法の改善、つまずきの解消・系統性を重視した指導方法の工夫、個別最適な学びと協働的な学びの充実、兵庫型学習システム等による授業の充実、ICTの効果的な活用等）
- ◆読書習慣の定着と活動の充実（朝の読書、親子読書、市立図書館との連携等）
- ◆情報活用能力及び情報モラルに関する指導の充実（端末活用の日常化の促進とプログラミング的思考の育成）

(3) 地域資源（ふるさと）を生かす活動によるふるさと意識の醸成と新宮地域内の魅力の相互理解

- ◆ふるさと意識を醸成する教育の充実（地域学習、城山ハイキング、越部探検隊、下野田れんげ祭り等）
- ◆地域との連携（「越部百人一首の里かるた大会」の開催、百人一首教室）
- ◆SDGsの目標達成に向けて、地域を核にした環境教育や生活・総合的な学習の時間の充実
- ◆新宮地域各校区の「ひと・もの・こと」（自然・産業・歴史・伝統・文化等）の魅力の交流

(4) 未来志向型人材の育成

- ◆英語によるコミュニケーション能力の育成
- ◆キャリア教育推進体制の整備
- ◆夢や希望、目標をもち、努力する態度の育成（非認知能力の育成を意識した指導）

(5) 家庭や地域と連携し、子どもの安全を守る取組や運動、食育・健康教育を通じた「健やかな体」の育成の推進

- ◆体育・スポーツの習慣化（楽しく体を動かす時間の確保、主体的に体力向上を図る態度の育成）
- ◆食育の組織的・計画的・継続的推進
- ◆地域・関係機関と連携した安心・安全への取組、感染症予防のための共通理解・対応

(6) 特別な教育的支援を必要とする児童への一貫した支援・協力体制の構築

- ◆特別支援教育推進委員会の充実
- ◆一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びと適切な指導、交流及び共同学習の充実
- ◆特別支援学校や関係機関との連携や、特別支援教育支援員の効果的な活用
- ◆教職員の専門性を向上させる職員研修の充実

(7) 子どもたちの学びを支える環境の充実

- ◆児童の内面理解に努め、一人一人が大切にされる学級経営の推進
- ◆「いじめ」のない、だれひとりも取り残さない学級づくり（積極的認知・早期発見・早期対応・組織的対応の徹底）
- ◆子どもの安全を守る体制の確立（生活・災害・交通に対応した危機管理能力の向上、食物アレルギーへの組織的対応、家庭との連携と地域の教育力活用）
- ◆教職員の資質と実践的指導力の向上（研修推進・学習指導の各委員会による取組、教員・管理職資質向上指標を踏まえた研修参加）
- ◆「チーム越部」教職員の協働体制による課題への組織的・効果的な対応
- ◆学校情報セキュリティポリシー等に則った情報管理の徹底
- ◆働きがいのある学校づくりの推進（働き方改革、業務改善、ワークライフバランス、ウェル・ビーング）